

平成30年度

# 仙台市水道事業会計決算の大要

仙台市水道局

# 平成30年度仙台市水道事業の概況と決算の概要

## 1 事業の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」(平成27～31年度)に基づき、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道、エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら、お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が1億2,029万9千立方メートル、前年度比16万1千立方メートル(0.1%)増、年間有収水量が1億1,350万立方メートル、前年度比3万4千立方メートル(0.03%)減となり、有収率は前年度より0.2ポイント低下して94.3%となりました。

経営面につきましては、経営基盤の強化を図るため、水道施設の適正な管理のためのアセットマネジメントの取り組みを推進するとともに、令和2年度以降10年間の事業運営指針となる基本計画の策定に着手しました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い、54億4千8百万円を支出し、配水管延べ35,863メートルを布設しました。また、施設整備事業では、荒巻配水所更新工事や青葉山隧道改良工事を行ったほか、南中山配水所耐震補強工事、綱木坂送水ポンプ場非常用発電設備更新工事などを行い、38億9百万円を支出しました。

### (1) 普及状況

区 分	平成30年度	平成29年度	比 較	
			増 減	比率(%)
計画給水区域内人口(A)	1,061,715 人	1,059,645 人	2,070 人	100.2
給 水 人 口(B)	1,058,549 人	1,056,300 人	2,249 人	100.2
普 及 率(B/A)	99.7 %	99.7 %	0.0 %	-

### (2) 配水状況

区 分	平成30年度	平成29年度	比 較	
			増 減 (△ 減)	比率(%)
年 間 総 配 水 量	120,298,943 m <sup>3</sup>	120,138,044 m <sup>3</sup>	160,899 m <sup>3</sup>	100.1
一 日 平 均 配 水 量	329,586 m <sup>3</sup>	329,145 m <sup>3</sup>	441 m <sup>3</sup>	100.1
一 日 最 大 配 水 量	359,172 m <sup>3</sup>	358,848 m <sup>3</sup>	324 m <sup>3</sup>	100.1
使 用 給 水 栓 数	459,406 栓	453,004 栓	6,402 栓	101.4
年 間 有 効 水 量	116,217,496 m <sup>3</sup>	116,278,963 m <sup>3</sup>	△ 61,467 m <sup>3</sup>	99.9
年 間 有 収 水 量	113,500,467 m <sup>3</sup>	113,534,750 m <sup>3</sup>	△ 34,283 m <sup>3</sup>	100.0
有 効 率	96.6 %	96.8 %	△ 0.2 %	-
有 収 率	94.3 %	94.5 %	△ 0.2 %	-

## 2 決算の大要

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 益 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 ( △ 減 )
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( △ 減 )	計		
水道事業収益	29,631,066	313,650	29,944,716	30,127,094	182,378
営業収益	26,763,146	20,000	26,783,146	26,913,867	130,721
給水収益	25,458,164	20,000	25,478,164	25,607,149	128,985
受託工事収益	124,317	0	124,317	112,486	△ 11,831
その他営業収益	1,180,665	0	1,180,665	1,194,232	13,567
営業外収益	2,865,302	292,375	3,157,677	3,205,086	47,409
受取利息	1,000	0	1,000	6,999	5,999
不動産賃貸料	31,397	0	31,397	33,271	1,874
水道加入金	1,068,857	300,000	1,368,857	1,451,890	83,033
他会計補助金	351,487	△ 1,025	350,462	351,098	636
国庫補助金	7,456	△ 6,600	856	874	18
長期前受金戻入	1,376,982	0	1,376,982	1,321,046	△ 55,936
雑収益	28,123	0	28,123	39,908	11,785
特別利益	2,618	1,275	3,893	8,141	4,248
固定資産売却益	1	1,275	1,276	1,276	0
過年度損益修正益	2,617	0	2,617	6,865	4,248

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業収益は、当初 29,631,066千円を予定いたしましたが、給水収益、水道加入金等の増収見込みと、他会計補助金、国庫補助金の減収見込みとの差引きにより、313,650千円を増額補正いたしましたので、最終予算額は 29,944,716千円となりました。

決算については、長期前受金戻入等で減収となりましたが、給水収益等の増収により 30,127,094千円となりましたので、予算額に対して 182,378千円の増収となりました。

## 収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額 (△ 減)	計			
水 道 事 業 費 用	27,881,310	△599,246	0	0	27,282,064	25,558,876	26,939	1,696,249
営 業 費 用	26,576,316	△1,170,000	0	0	25,406,316	23,830,717	26,939	1,548,660
原 水 費	582,152	△ 50,000	0	0	532,152	487,975	0	44,177
浄 水 費	2,407,782	△ 49,000	0	2,140	2,360,922	2,083,136	0	277,786
受 水 費	6,481,270	0	0	0	6,481,270	6,277,191	0	204,079
配 水 費	2,786,425	△131,000	0	0	2,655,425	2,472,215	26,939	156,271
給 水 費	3,050,398	△435,000	0	△ 7,346	2,608,052	2,302,975	0	305,077
受 託 工 事 費	124,320	0	0	8,542	132,862	120,184	0	12,678
業 務 費	1,183,299	△ 26,000	0	0	1,157,299	1,100,636	0	56,663
総 係 費	1,454,830	△250,000	0	△ 3,336	1,201,494	1,042,731	0	158,763
減 価 償 却 費	7,920,143	△200,000	0	0	7,720,143	7,638,630	0	81,513
資 産 減 耗 費	585,697	△ 29,000	0	0	556,697	305,044	0	251,653
営 業 外 費 用	1,226,994	415,000	0	0	1,641,994	1,528,685	0	113,309
支 払 利 息	1,062,232	△ 13,000	0	0	1,049,232	1,048,319	0	913
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	160,762	428,000	0	0	588,762	477,067	0	111,695
雑 支 出	4,000	0	0	0	4,000	3,299	0	701
特 別 損 失	48,000	155,754	0	0	203,754	199,474	0	4,280
過 年 度 損 益 修 正 損	48,000	0	0	0	48,000	43,721	0	4,279
固 定 資 産 売 却 損	0	2,094	0	0	2,094	2,093	0	1
減 損 損 失	0	153,660	0	0	153,660	153,660	0	0
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	30,000
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	30,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業費用は、当初 27,881,310千円を予定いたしましたが、消費税及び地方消費税、減損損失等の増額見込みと、給水費、総係費等の減額見込みとの差引きにより、599,246千円を減額補正いたしましたので、最終予算額は 27,282,064千円となりました。

決算については、浄水費、給水費等の減少により 25,558,876千円となり、配水費で26,939千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 1,696,249千円となりました。

## (2) 資本的収入及び支出

## 資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 ( △ 減 )
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( △ 減 )	繰 越 額	計		
水 道 事 業 資 本 的 収 入	7,130,460	△ 593,847	2,137,735	8,674,348	5,390,286	△3,284,062
企 業 債	5,000,000	△ 500,000	1,879,000	6,379,000	3,927,000	△2,452,000
固 定 資 産 売 却 代 金	1	3,153	0	3,154	3,154	0
出 資 金	772,708	△ 137,000	39,886	675,594	540,958	△ 134,636
国 庫 補 助 金	1,014,820	0	218,849	1,233,669	478,831	△ 754,838
開 発 負 担 金	238,036	50,000	0	288,036	340,726	52,690
負 担 金	99,619	△ 10,000	0	89,619	93,088	3,469
そ の 他 資 本 的 収 入	5,276	0	0	5,276	6,529	1,253

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業資本的収入は、当初 7,130,460 千円を予定いたしましたが、開発負担金、固定資産売却代金の増収見込みと、企業債、出資金等の減収見込みとの差引きにより、593,847 千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した同意済企業債 1,879,000 千円、出資金 39,886 千円、国庫補助金 218,849 千円を加え、最終予算額は 8,674,348 千円となりました。

決算額は 5,390,286 千円となり、予算額に比べ 3,284,062 千円の減収となりました。これは、企業債 1,652,000 千円、出資金 115,758 千円、国庫補助金 535,405 千円を繰越工事の財源として翌年度へ繰り越したこと等によるものです。

## 資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	計			
水道事業 資本的支出	17,400,361	△1,122,000	0	3,301,619	19,579,980	15,118,868	3,823,022	638,090
建設改良費	11,370,329	△ 818,000	0	3,301,619	13,853,948	9,393,237	3,823,022	637,689
配水管整備 事業費	6,029,990	△ 180,000	5,997	2,064,358	7,920,345	5,447,509	2,248,936	223,900
施設整備 事業費	4,810,780	△ 332,000	△ 5,997	1,201,844	5,674,627	3,809,340	1,530,697	334,590
受託等 工事費	529,559	△ 306,000	0	35,417	258,976	136,388	43,389	79,199
企業債償還金	6,030,032	△ 304,000	0	0	5,726,032	5,725,631	0	401

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業資本的支出は、当初 17,400,361 千円を予定いたしましたが、建設改良費、企業債償還金の減額見込みにより、1,122,000 千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 3,301,619 千円を加え、最終予算額は 19,579,980 千円となりました。

決算額は 15,118,868 千円となり、配水管整備事業費 2,248,936 千円、施設整備事業費 1,530,697 千円、受託等工事費 43,389 千円の合計 3,823,022 千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 638,090 千円となりました。

次に、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額の補てん財源について説明いたします。

資本的収入額 5,390,286 千円が資本的支出額 15,118,868 千円に対し不足する額 9,728,582 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 624,332 千円、過年度分損益勘定留保資金 6,160,582 千円及び減債積立金 2,943,668 千円で補てんいたしました。

## (3) 損益計算書

## 比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部					
科目	区分	平成30年度	平成29年度	増減 (△減)	科目	区分	平成30年度	平成29年度	増減 (△減)
営業費用		22,854,046	22,960,853	△ 106,807	営業収益		24,945,584	24,826,438	119,146
営業外費用		1,052,871	1,158,739	△ 105,868	営業外収益		3,093,770	3,150,434	△ 56,664
特別損失		196,306	1,097,207	△ 900,901	特別利益		7,755	183,595	△ 175,840
小計		24,103,223	25,216,799	△1,113,576					
当年度純利益		3,943,886	2,943,668	1,000,218					
計		28,047,109	28,160,467	△ 113,358	計		28,047,109	28,160,467	△ 113,358

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 28,047,109 千円で、前年度に比べ 113,358 千円の減収となりました。これは、受託工事収益等の営業収益で 119,146 千円増加いたしましたが、国庫補助金等の営業外収益で 56,664 千円、過年度損益修正益等の特別利益で 175,840 千円減少したことによるものです。

また、総費用は 24,103,223 千円で、前年度に比べ 1,113,576 千円の減少となりました。これは、給水費等の営業費用で 106,807 千円、支払利息等の営業外費用で 105,868 千円、過年度損益修正損等の特別損失で 900,901 千円減少したことによるものです。

以上により、当年度は 3,943,886 千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び剰余金処分計算書(案)

資本剰余金については、前年度末残高は 28,606,842千円でありましたが、増減はありませんでしたので、当年度末残高は 28,606,842千円となりました。当年度末残高の内訳は、受贈財産評価額 3,824,117千円、工事負担金 1,248,090千円、国庫(県)補助金 415,509千円、開発負担金 22,339,295千円、その他資本剰余金 779,831千円となっております。

利益剰余金については、前年度末残高が 4,932,571千円でありましたが、議決による処分により 1,988,903千円が減少し、当年度純利益 3,943,886千円が生じたことにより、当年度末残高は 6,887,554千円となりました。

当年度末処分利益剰余金 6,887,554千円については、2,943,668千円を資本金に組み入れ、残額の 3,943,886千円を減債積立金に積み立ていたします。

## (5) 貸借対照表

## 比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区分 科目	平成30年度	平成29年度	増 減	区分 科目	平成30年度	平成29年度	増 減 ( △ 減 )
固定資産	177,868,242	176,673,341	1,194,901	固定負債	63,133,995	65,857,094	△ 2,723,099
流動資産	22,384,679	22,037,048	347,631	流動負債	11,968,544	12,399,514	△ 430,970
				繰延収益	27,748,713	27,536,956	211,757
				資本金	61,907,273	59,377,412	2,529,861
				剰余金	35,494,396	33,539,413	1,954,983
計	200,252,921	198,710,389	1,542,532	計	200,252,921	198,710,389	1,542,532

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産のうち、有形固定資産については、前年度末残高は 170,224,047千円でありましたが、当年度内に建設改良事業等により 8,621,654千円、寄附により 639,352千円、リース資産取得により 8,250千円の合計 9,269,256千円が増加し、減価償却により 7,368,757千円、除却により 279,521千円、減損により153,660千円、売却により 5,247千円の合計 7,807,185千円が減少しましたので、当年度末残高は 171,686,118千円となりました。無形固定資産については、前年度末残高は 6,379,794千円でありましたが、建設改良事業等により 2,702千円が増加し、減価償却により 269,872千円が減少しましたので、当年度末残高は 6,112,624千円となりました。投資については、前年度末残高は69,500千円でありましたが、増減はありませんでしたので、当年度末残高は 69,500千円となりました。これにより、固定資産の当年度末残高は 177,868,242千円となりました。

流動資産については、前年度末残高は 22,037,048千円でありましたが、現金及び預金 289,358千円、未収金 59,853千円、前払費用 26千円が増加し、貯蔵品 1,606千円が減少しましたので、当年度末残高は 22,384,679千円となりました。

固定負債については、前年度末残高は 65,857,094千円でありましたが、企業債 2,102,452千円、リース債務 102,657千円、引当金 517,990千円が減少しましたので、当年度末残高は 63,133,995千円となりました。

流動負債については、前年度末残高は 12,399,514千円でありましたが、企業債 303,821千円、リース債務 628千円が増加し、未払金 708,575千円、未払費用 4,337千円、預り金 16,787千円、引当金 5,720千円が減少しましたので、当年度末残高は 11,968,544千円となりました。

繰延収益については、前年度末残高は 27,536,956 千円でありましたが、長期前受金 211,757 千円が増加しましたので、当年度末残高は 27,748,713 千円となりました。

資本金については、前年度末残高は 59,377,412 千円でありましたが、2,529,861 千円が増加しましたので、当年度末残高は 61,907,273 千円となりました。

剰余金については、前年度末残高は 33,539,413 千円でありましたが、利益剰余金 1,954,983 千円が増加しましたので、当年度末残高は 35,494,396 千円となりました。

なお、用地の内訳は別表のとおりです。

以上が、平成30年度仙台市水道事業会計決算の大要です。

## 別表

## 用地内訳表

平成31年3月31日現在

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	大倉川 水源関係	青葉区芋沢字中田西29-1 外48	52,893	23,069	隧道用地	
		青葉区芋沢字甲野田中2-2 外10	6,099	2,851	導水管路用地	
		青葉区芋沢字中山下24-3 外21	81,988	221,030	貯水池用地	
		青葉区芋沢字中原17-1 外40	67,460	35,943	浄水場用地	
		青葉区芋沢字大竹原8-2 外23	28,636	30,382	送水管路用地	
		青葉区国見三丁目24 外15	35,120	79,364	配水所用地	
		青葉区上愛字松原39-2	233	898	ポンプ場用地	
		青葉区国見二丁目55 外12	930	221	配水管路用地	
		青葉区芋沢字大竹原5-1 外9	17,624	212,050	発生土処分用地	
		小計	290,983	605,808		
青下 水源関係	青葉区熊ヶ根字大原道19-1 外59	867,399	893,801	水源用地		
	青葉区大倉字大原新田12-5 外13	2,135	21	隧道用地		
	小計	869,534	893,822			
用地	大倉ダム 水源関係	青葉区芋沢字中田西9-7 外10	17,488	3,174	隧道用地	塩竈市共有地含
		青葉区芋沢字青野木84-3 外46	45,570	184,196	導水管路用地	塩竈市共有地含
		青葉区国見六丁目13-2 外14	67,295	203,416	浄水場用地	塩竈市共有地含
		青葉区小松島三丁目5-10 外5	1,472	21,140	送水管路用地	
		宮城野区柊江19-2 外11	20,958	288,641	配水所用地	
		青葉区国見六丁目13-14 外2	234	1,446	ポンプ場用地	
		青葉区貝ヶ森二丁目21-5 外14	3,653	51,235	配水管路用地	
		青葉区川平三丁目13-14 外2	2,029	16,002	流量計室用地	
		青葉区芋沢字中田西9-8 外8	2,051	6,904	その他用地	塩竈市共有地含
		小計	160,750	776,154		

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	釜房ダム 水源関係	川崎町小野字小地倉山1-10 外3	7,201	2,077	隧道用地	
		川崎町支倉字上赤沢山2-2	12,479	9,735	沈砂池用地	
		太白区茂庭字中谷地山8-3 外63	34,860	28,364	導水管路用地	
		太白区茂庭字上ノ原山128-2 外15	127,581	181,811	浄水場用地	
		太白区佐保山9-2 外58	5,367	7,257	送水管路用地	
		青葉区荒巻字青葉341-1 外18	65,661	310,252	配水所用地	
		青葉区荒巻字青葉694-4 外5	21,092	178,817	ポンプ場用地	
		太白区茂庭字人来田西7-3 外210	92,126	392,493	配水管路用地	ガス局・建設局 共有地舎
		太白区茂庭字坂ノ下29-3 外2	100,719	327,520	発生土処分用地	
		宮城野区仙台港北二丁目3-4 外13	1,477	60,105	その他用地	ガス局・NTT・ 東北電力共有地舎
	小計	468,563	1,498,431			
用地	七北田 ダム 水源関係	泉区福岡字東泉24-3 外15	15,583	62,908	水源用地	
		泉区福岡字台103-2 外3	82,529	189,699	浄水場用地	
		泉区小角字下河原3-15 外28	7,704	70,023	送水管路用地	
		泉区福岡字岳山3-13 外24	77,952	976,951	配水所用地	
		宮城野区岩切字入生沢57-4 外18	20,238	220,137	ポンプ場用地	
		泉区実沢字荒神39-4 外12	860	13,203	配水管路用地	
		泉区南中山一丁目44-5 外1	1,025	27,292	高架水槽用地	
		泉区南光台二丁目68-543	514	2,726	流量計室用地	
		泉区福岡字大沢3-8 外9	658	10,217	発生土処分用地	
	小計	207,063	1,573,156			

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	広域 水道関係	太白区茂庭字大堤21-118 外13	14,085	103,967	送水管路用地	
		太白区茂庭字馬越石20-5 外19	80,398	762,737	配水所用地	
		青葉区芋沢字綱木坂32 外8	8,100	124,115	ポンプ場用地	
		太白区茂庭字生出森45-2 外12	20,503	105,451	配水管路用地	
		青葉区国見六丁目12-33 外1	412	302	流量計室用地	
		青葉区小松島四丁目53-2 外1	108	8,810	その他用地	
	小計	123,606	1,105,382			
施設	宮床ダム 水源関係	泉区福岡字檀ノ原56-5 外1	900	13,768	導水管路用地	
		泉区朴沢字相ノ沢4 外2	2,339	8,271	その他用地	
	小計	3,239	22,039			
用地	その他の 水源関係	青葉区大倉字高見沢11-2 外4	9,307	9,147	導水管路用地	
		青葉区大倉字高見沢25-2 外3	7,516	8,909	浄水場用地	
		青葉区上愛子字堤4-2 外68	36,470	157,799	送水管路用地	
		青葉区大倉字下窪37-2 外12	24,931	63,911	配水所用地	
		青葉区大倉字宮前4-1 外4	5,935	21,968	ポンプ場用地	
		青葉区大倉字堰下12-6 外4	10	30	その他用地	
	小計	84,169	261,764			
資材置場 用地ほか	宮城野区扇町四丁目5-1 外44	10,250	57,266	資材置場用地		
	富谷市富ヶ丘一丁目3-88 外44	141,439	260,774	その他用地		
	小計	151,689	318,040			
計		2,359,596	7,054,596			

区 分	所 在	面 積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使 用 目 的	備 考
事 務 所 用 地	太白区南大野田29-1 外4	19,176	1,432,193	大野田庁舎用地	
	若林区卸町二丁目3-1 外2	10,076	110,340	その他庁舎用地	
	計	29,252	1,542,533		
合 計		2,388,848	8,597,129		

